

学年	氏名	2026年度の目標		今年度の意気込み	陸上競技部における部員の目標・オアシジ	
		記録	戦績		在学中の目標	
					目標達成の理由	
M1	牧 耀祐	5000m:15'30"00	島原学生駅伝優勝	ロングハートが目指す目標を達成するための戦力になれるように、競技力を向上させたい。	終身1年次:10000mで11月の日体大記録会において、32分00秒を切る。その後の島原学生駅伝では、アンカーを走って優勝したい。修2年次:5000mで11月の日体大記録会において15分切りをする。全日本大学駅伝予選、島原学生駅伝優勝。	応援してくれる人への恩返し。指導者になった時のノウハウの獲得。
4	遠藤 一護	5000m:14'20"00 10000m:29'59"99	全日本大学駅伝出走 島原学生駅伝優勝	陸上競技ラスタイヤー。最後まで諦めず、やれるところまで全力で頑張ります！	4年次:11月の日体大記録会の5000mで14分20秒台を出したい。 4年次:800mにおいて20.99秒を出して大学最高峰の全かしで準決勝まで勝ち上がる。 ・次、主将として、私、部員の思い(競技部を実現し競技に集中できる環境を整える。またリーダーシップを発揮し組織マネジメントに取り組む。	その理由は高校生の時からの目標であり、大学入学時に立てた目標でもあるから。
4	波江野 碧羽	800m:2'09"99	全日本ICへの出場	大学ラストシーズンは最善の努力でプロセスと結果ともに後悔なく終わる。	4年次:10月末までに鹿屋体育大学陸上競技会で3000mSCで9:23.99のPBを達成する。1位を取る。	これまでのプロセスと結果に後悔がなく、笑顔で陸上競技に切り替わりたい。
4	植田 耀仁	3000mSC:9'23"99	第2回九州学連南九州地区学連競技会	3年間陸上競技部に所属し、1度もPBを更新できていない。今年こそはPBを更新し、やってきた意義を果たす。	4年次:10月末までに鹿屋体育大学陸上競技会で3000mSCで9:23.99のPBを達成する。1位を取る。	今まで自分の競技に携わってきた全ての人に感謝の気持ちとして結果で恩返しするため。
4	岡村 颯太	800m:1'45"50	日本選手権優勝	ラスタイヤーやってやりませう！	第110回日本陸上競技選手権大会にて優勝、それまでは本大会にて1:45.00切りをする。そして、2026アジア競技大会に日本代表として出場、入賞をする。個人として初の代表を勝ち取り、オリンピック・世界陸上で戦うという目標の段階的達成をするため。	大学4年間の集大成として、鹿屋体育大学陸上競技部を背負う最後の年として悔いの残らない結果を残して卒業したいから。また、応援してくれている全ての人に対して感謝の気持ちを持って結果として恩返しをしたいから。
4	河人 美貴	1500m:4'18"00 5000m:16'15"00	全日本IC入賞 富士山女子駅伝日本学連選抜で出走する	自分の将来の夢に向かって妥協せずに、やり切る。	4年次:1500m 日本インカレ入賞、九州学生記録5000m 後半シーズン16.20切り、富士山女子駅伝日本選抜出走	自分のなりたい将来像になるために必要なことであり、自分の理想の将来像に向けて妥協せず1つ1つの練習を大切にしたいから。
4	兵藤 颯太	5000m:13'59"99 10000m:28'59"99	全日本大学駅伝出走 島原駅伝優勝	大学での目標をすべて達成して、有終の美を飾ります。	4年次:11月の日体大記録会までに5000m13分台、10000m28分台を出す。 ・全日本大学駅伝出走、島原学生駅伝優勝 ・チームで突っ走って競技生活を終える ・自頃支えてくれる人々の感謝の結果を伝えて伝える	上記のタイムがアスリートとしてトップレベルと認められるタイムだと考え、大学在学中に達成したいから。 ・学生三大駅伝に憧れがあるから・自頃支えてくれている人々に対しての最大の恩返し。私自身が競技を通して素晴らしい成績を残したときだと考えているから。
4	東 純大	1500m:3'45"00	全日本IC出場 (3'45"/8/20)	全日本ICに出場する	4年次:1500mで3分45秒で走りたい。 この記録を出す大会 日体大記録会8/23	高校時代に達成できなかった全国大会に出場し切りよ引引したいから
4	西堤 健人	800m:1'59"99	第2回九州学連南九州地区学連競技会	この1年鍛錬を積み、学生の間に2分を切る	4年次:第2回九州学連南九州地区学連競技会の800mで2'00"00を切る。	私の中で800mの記録が、自らの身体能力や競技力がどの程度高まっているかの指標になるから。その中で2'00"00を達成することが具体的な目標設定として妥当であると考え設定しました。
4	松村 浩希	800m:1'56"54	九州学生陸上競技選手権大会入賞 800m(1'57"00)	陸上競技を積極的に楽しむ。自己ベストを更新し、有終の美を飾りたい。お世話になった方々に走る姿を届ける。	4年次:熊本陸協秋季記録会で800mの自己ベストを更新する(1'56"54)	高校1年次に初めて800mを走った競技会であり、初めて1分台を出し目標範囲のきつかけを作った競技会で熊本のお世話になった方や応援してくださっている方々の前で有終の美を飾りたい。
3	田中 和輝	1500m:3'53"50	九州学生陸上競技選手権大会入賞	自己ベストを更新する	3年次:10/30までに1500m3'54"99	今年度で競技部での活動を終えようと考えているため大会出場できる大会で結果を出したいから。その後の競技人生で、3'50"00を目標としているため通過点として上記の記録を出したいと考えているから。
2	畑中 登仁	1500m:3'52"00 5000m:14'20"00	U20日本選手権 1500m出場 (3'52"00)	冬季での積み上げの成果を発揮し、自己ベストの更新へ近づけたい。	2年次:1500mでU20日本選手権出場、3'52"00切り 3年次:1500mで全日本インカレ出場、3'45"00切り、5000mで14'10"00切り 4年次:1500mで日本選手権出場、3'41"00切り、5000mで14'00"00切り	自身の記録が伸びることが楽しいという自己満足、両親や先生など自分を支えて下さる方々へ記録を出すことで感謝として示したいから。
2	松本 唯香	5000m:16'40"00	島原学生駅伝出場	昨年は怪我が続いたため、今年は怪我無しで陸上の楽しさを味わいます！	3年次:11月の日体大記録会で16'20"走り、全かしB標準を突破 4年次:日本インカレで16'10"切りを達成し、入賞する。	「高校時代2秒差で届かなかった全国の舞台で戦いたい」恩師や顧問の結果で恩返しをしたい。これまで支えてもらっていた怪我の背中を、次は私が次世代に繋げていきたいと思います。
2	青野 祥太	3000m:9'30"00	12月の記録会の3000mで自己ベストを更新する	走れるようになる。	2年次:怪我を治す。1回でも試合に出る。 3年次:西日本インカレの標準を切る。1分55秒00。 4年次:全かし標準(1分51秒50)を切る。	全日本ICに出場し、全国で自分が満足のいく結果を出したいから。
2	澤田 菜和	1500m:3'58"00 5000m:14'40"00 10000m:30'50"00	全日本大学駅伝出場 島原学生駅伝優勝	怪我せず島原優勝に貢献できる走りをする。自分の弱い筋肉を鍛え、怪我しない体を作ります。	共通目標として、6月の全日本大学駅伝予選会、12月の島原学生駅伝で優勝する。 そのために 2年次:5000m14分40秒切り、10000m31分切り 3年次:5000m14分30秒切り、10000m30分30秒切り 4年次:5000m14分20秒切り、10000m30分切り	自分は、大学駅伝に出場して、これまで支えてくれた家族をはじめ、コーチや先生方と走っているところを見てほしいので、入学当初からの目標に掲げています。
2	島津 暖	800m:1'51"50	全日本IC出場	1'51"50の全日本ICのB標準を突破し、初めての全国の切符を勝ち取るように頑張ります。	2年次:800mで1'51"50を切り、全かし出場。 3年次:1'50"00を切り、九州インカレ優勝、全かし決勝。 4年次:1'48"台を出し、広島県記録を更新する。	高校時代はインターハイ出場が叶わず、志半ばで引退することになった。そのため大学では結果を残し、これまでの陸上競技人生に後悔がないよう頑張りたい。
2	山崎 亮汰	3000mSC:9'05"00 5000m:14'40"00	九州IC 3000mSC1位(9'10") 島原学生駅伝区間賞	個人としては日本ICに出場し、鹿屋体育大学の名を高めたい。チームとしては島原学生駅伝で優勝すること！	1年次:九州インカレ3000m障害3位9:28.46 2年次:12月島原学生駅伝5区9:08m+27'24"区間賞区間新記録 4年次:11月全日本大学駅伝出場1区(9.5km)27'30"区間賞&出走記録出場1区(8km)23'30"区間賞	4年次の目標として、永田宏一郎さんは全日本大学駅伝での1区区間賞は達成できたが出走記録での1区区間賞は達成できなかったから自分自身でこの大会で初めての大会記録区間賞を達成したいと思っています。これらの目標を達成する為2年次から5年次の目標達成が不可欠であると感じた。
2	有田 圭吾	1500m:3'53"00, 3000mSC:9'12"00	西日本IC出場 県選手権優勝	今年より上の大会に出場できるようにチームの大層更新を担っていきます。また横のつながりも強固にできるようにコミュニケーションを積極的に取ってほしいと思います。	2年次:前半シーズンは西日本インカレに出場するために標準を突破する。具体的には九州インカレとその次の選抜競技会1500mと3000mでB標準を突破します。後半シーズンは県選手権や中国選手権でタイムを狙って自己ベストを1500mと3000mで出します。最終戦まで西かA標準を突破し、来年に繋げます。 3年次:シーズンを通しての最大目標は日本インカレに出場することです。そのため2300mと1500mで九州インカレで優勝することを前半シーズンの目標とします。タイムを切れなくてもB標準で行ける可能性があるからです。後半シーズンは対外試合に積極的に出場し、日本インカレ標準を突破できるように頑張っていきます。例えば日体大記録会など自分より格上の人と競ってタイム更新に向けて頑張っていきます。 4年次:シーズンを通して日本選手権に出場することを目標として頑張っていきます。個人選手権や金葉記念などの主要大会に出て標準を狙っていきます。1500mと3000mで出場するために九州インカレの次の週にあるであろう競技会でPBを頑張ってほしいと思います。	各学年で成し遂げたことありますが、共通して達成したい理由が、唯一無二の存在にならないうちの気持ちがあるからです。今のままではどこにいても陸上をやっている人なのだから分かります(結果を残すことで他の人にはないものを持つことができるのではないかと考えます)。またいろんな大会に出られるようになることと競って支えてくれた人が喜んでくれるから達成したいです。
2	長崎 航	800m:1'53"00 1500m:3'57"00	西日本IC準決勝進出 岡山県選手権優勝	昨年度自己ベスト更新できなかったため、今年度は800m、1500mの2種目で自己ベストを更新する。	2年次:800mで九州インカレ、西日本インカレに出場、九州インカレでは決勝進出、西日本インカレで自己ベストの1'53"14を切る。 3年次:800m九州インカレ、西日本インカレに出場、九州インカレでは3位以内、西日本インカレでは決勝進出し、シーズン中に1'51"00を切る。 4年次:800mで九州インカレ、西日本インカレに出場、九州インカレでは優勝、西日本インカレでは3位、全日本インカレに出場、シーズン中に岡山県記録を更新する。	高校時代にインターハイには出場することができたものの予選落ちし、大学に入ってから入賞が出ないで高校の記録がベストなので、陸上競技に対して未練がまだ残っているから。また、今中小学校、中学校、高校と全国大会に出場しているため、大学でも全国大会に出場したい。
2	村島 和哉	800m:1'53"79 1500m:3'59"99	九州選手権 800m出場	怪我しないラインを見定め、練習を積み上げいき、自身の自己ベストの大幅更新と上位大会出場を狙っていく。	2年次:7/21までに学内競技会・学外試合問わず800mで1'54"99を出す。そして九州選手権に出場。 3年次:9月までに学内競技会・学外試合問わず800mで1'52"99を出す。佐賀の国スポの練習会に参加する。 4年次:9月までに学内競技会・学外試合問わず800mで1'49"00を出す。佐賀の800mの国スポ代表選手として出場。	私は、残りの在学期間内に佐賀の国スポ代表選手になる事が最重要目標である。なぜなら、私は高校時代3年間に手術を伴うような大怪我をし、高校2年生までの良い流れを全て消してしまっただけで、全国大会出場が夢が途絶えてしまったがコンプレックスになっていたからに。また、岡村颯太さんが2024の佐賀国スポで圧倒的な力で怪我を寄せ付けない走り強い感動と感謝を浴びたことで自分もこの舞台で走りたくなった。そのため、私はこれらの欲とコンプレックスを解消し、人間的に更に前に進むために在学中に国スポの代表選手として出場したいと考えている。
1	種子嶋 悠宇	1500m 3'54"99	広島県選手権入賞、 中国選手権入賞	怪我せずに練習を積む	1年次:3'54"99 2年次3'50"00 3年次:3'47"49 4年次3'46"00	3年次に1番のピークを持ってきて学生個人選手権の標準記録を突破し、最高学年で全国大会出場したい。
1	草場 陸哉	800m 1'54"00	九州選手権入賞	怪我せず頑張ります。	1年次:1'55"00(西カレ標準) 2年次:1'53"00(西カレ標準) 3年次:1'51"00 4年次:1'49"00	大学に来て自分の弱みであるラストのスプリント力や自分の強みであるリズムで走ることをさらに磨きもっと速く感じたいから
1	餘助 涼雅	800m 1'55"00	九州学生陸上競技選手権大会3位以内	今年中に西日本インカレの標準記録を突破し、一つでも上の大会に出場できるように土台を作る。	1年次:1'55"00(西日本インカレ標準記録突破) 2年次:1'53"00(西日本インカレ出場) 3年次:1'51"50(全日本インカレ出場) 4年次:自分の限界までチャレンジ	1年次では出られる大会を一つでも増やせるように土台を作る練習を頑張る。 2年次では西日本インカレに出場してハイレベルなレースを経験する。 3年次では全国の舞台を経験する。 4年次で限界までチャレンジして競技人生を終えていきたい。
1	山口 大河	5000m 14'50"00	島原駅伝優勝	年間を通して怪我をしない	3000mSCを・・・ 1年次:なし 2年次:9'15"00 3年次:8'55"00 4年次:8'45"00	今まで目標としている全国大会に出場したことがないところから3年次には標準記録を出し、全日本ICの3000mSCに出場したいという思いがあるため
1	高尾 美心	5000m 17'30"00	都道府県対抗女子駅伝出場	自己ベスト更新！全国で戦えるレベルまで成長する！	1年次:17'30"00 2年次:16'50"00 3年次:16'20"00(全かし出場) 4年次:16'00"00(全かし標準)	高校時代に個人で全国大会に出場出来ていない自分の力で戦えるように、そして全国へ納得いく走り走りたいから